

オークの花嫁たち

高潔な女騎士は
雌に堕とされ愛される



オークの花嫁たち

～高潔な女騎士は
雌に墮とされ愛される～

私は女騎士だ。

こっちに來い



ふざけるな!

キッ

必ずお前を
殺してやる!

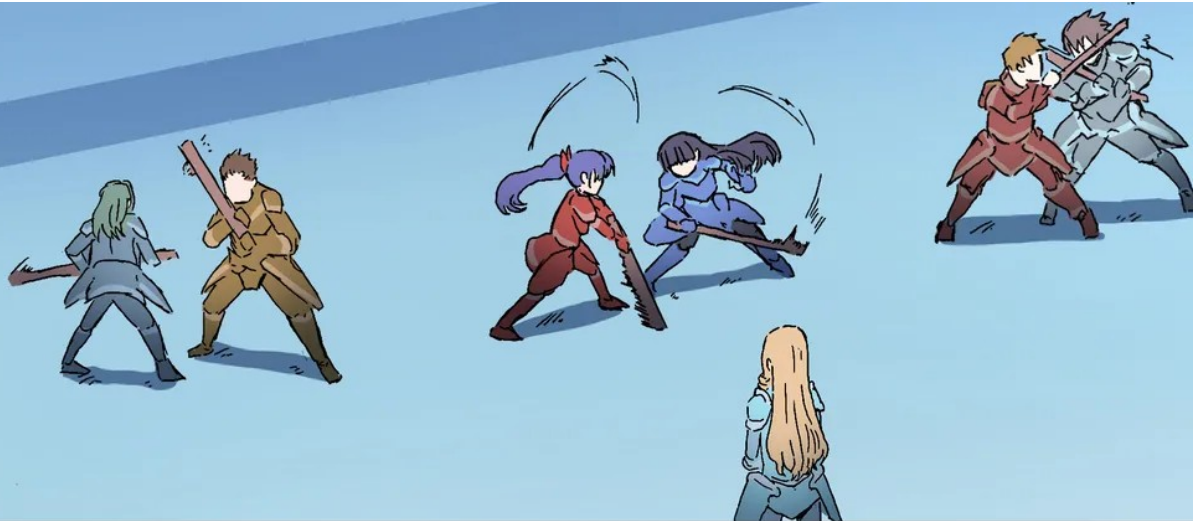
ムニムニ

この生活にも
慣れたか?

先日、こいつとの戦いに負け
奴隷にされてしまった。



私は戦場で経験を積み、
新米騎士の教官をしていた。



それで、
彼氏が：

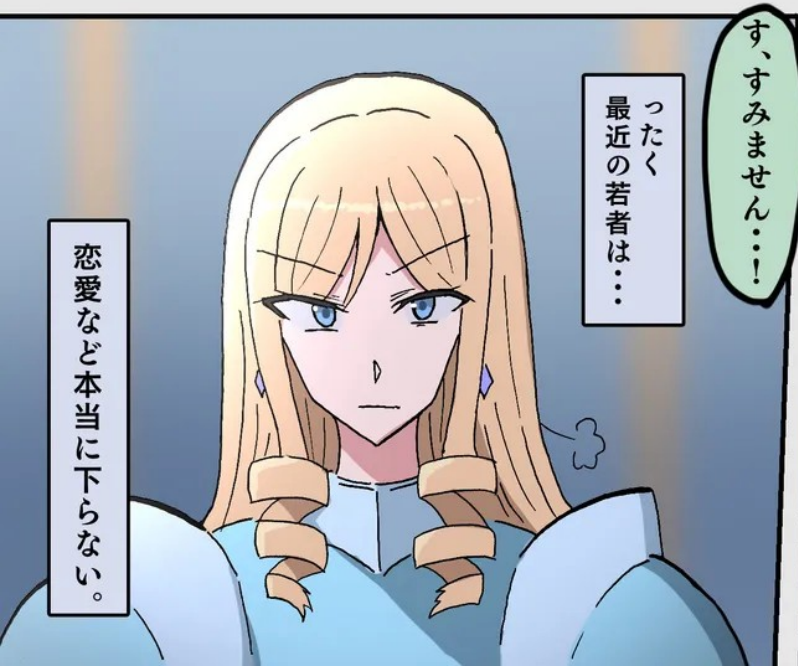
キャッ



そこッ！

訓練中だ！
私語は慎め！

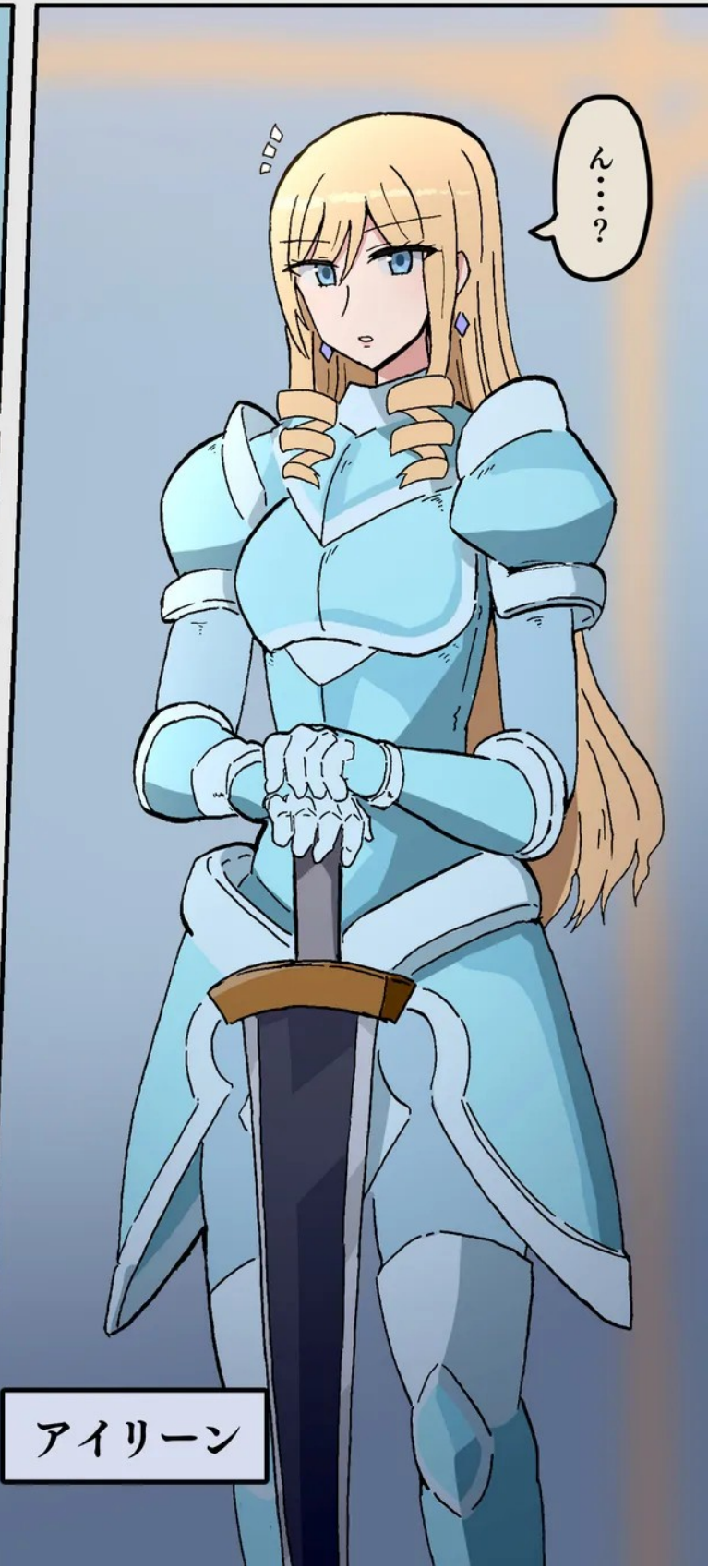
ビクッ



す、すみません…！

まったく
最近の若者は…

恋愛など本当に下らない。



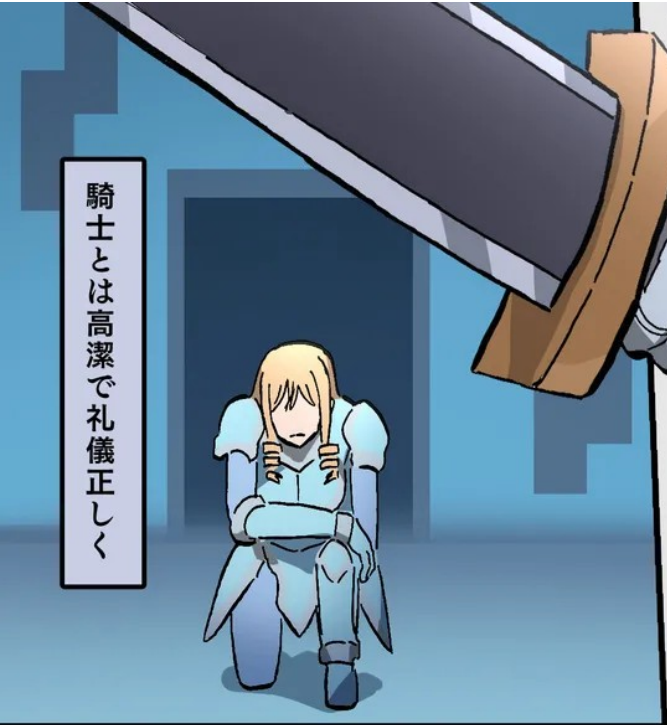
ん…？

アイリーン

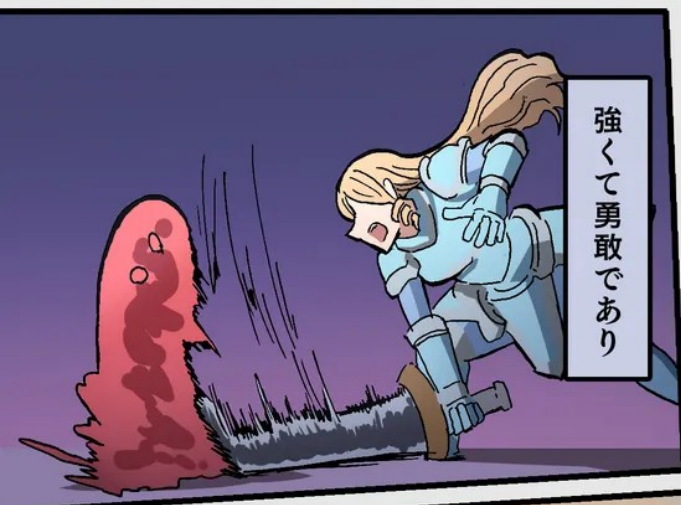
騎士の務めは神に代わり
人々を守り魔族と戦う事だ。



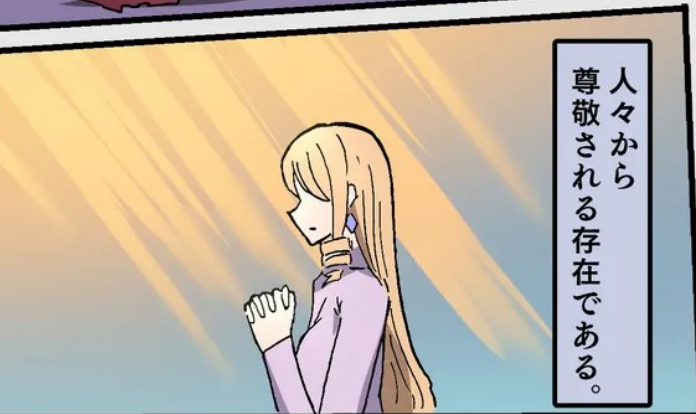
騎士とは高潔で礼儀正しく



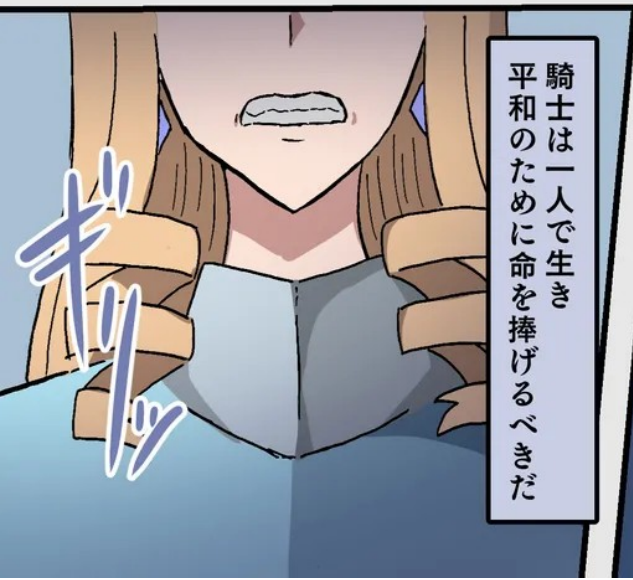
強くて勇敢であり



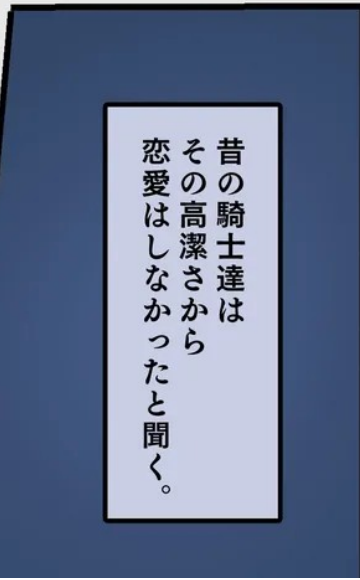
人々から
尊敬される存在である。



騎士は一人で生き
平和のために命を捧げるべきだ



昔の騎士達は
その高潔さから
恋愛はしなかったと聞く。



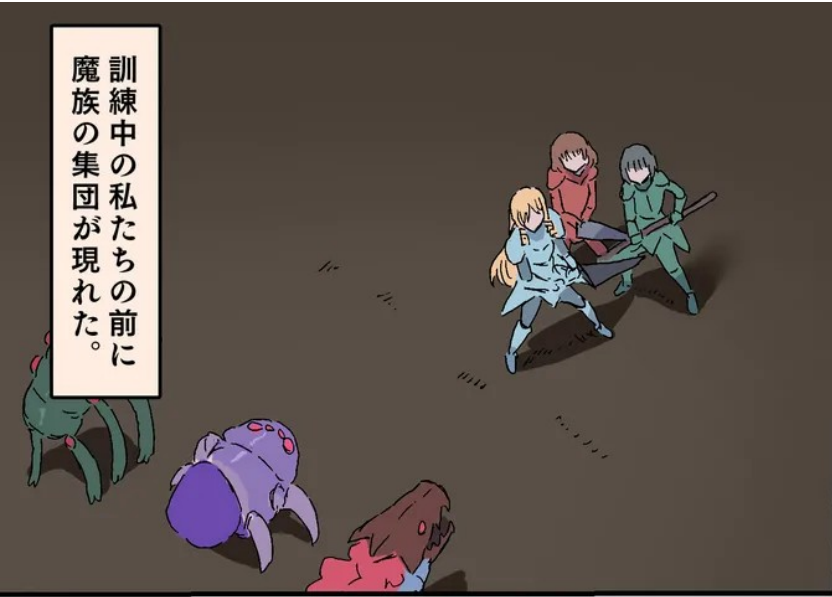
しかし最近はやや軽い気持ちで騎士を
目指す軟弱な若者が増えてきた。



それから数日後



訓練中の私たちの前に
魔族の集団が現れた。



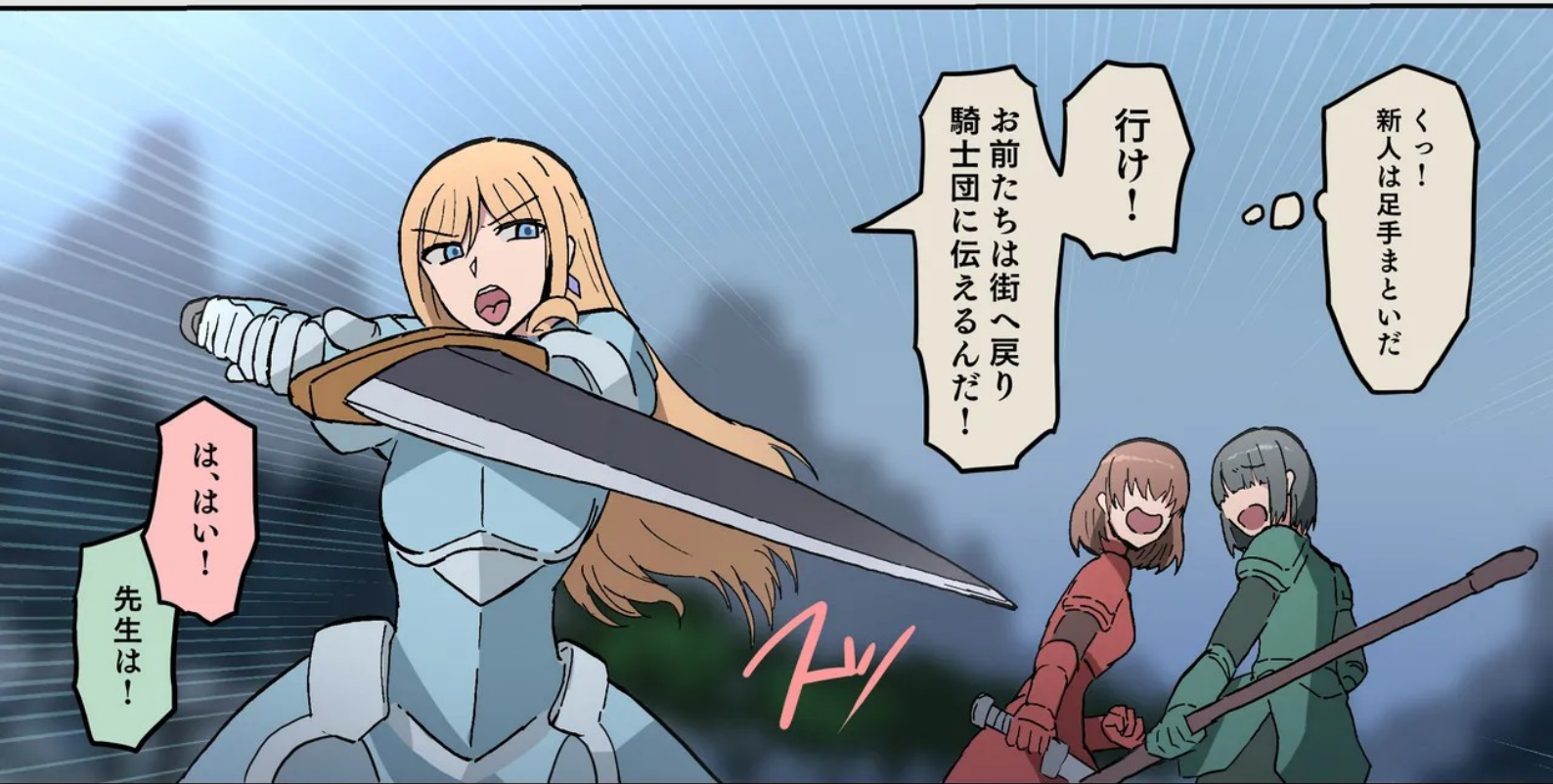
くっ！
新人は足手まといだ

行け！

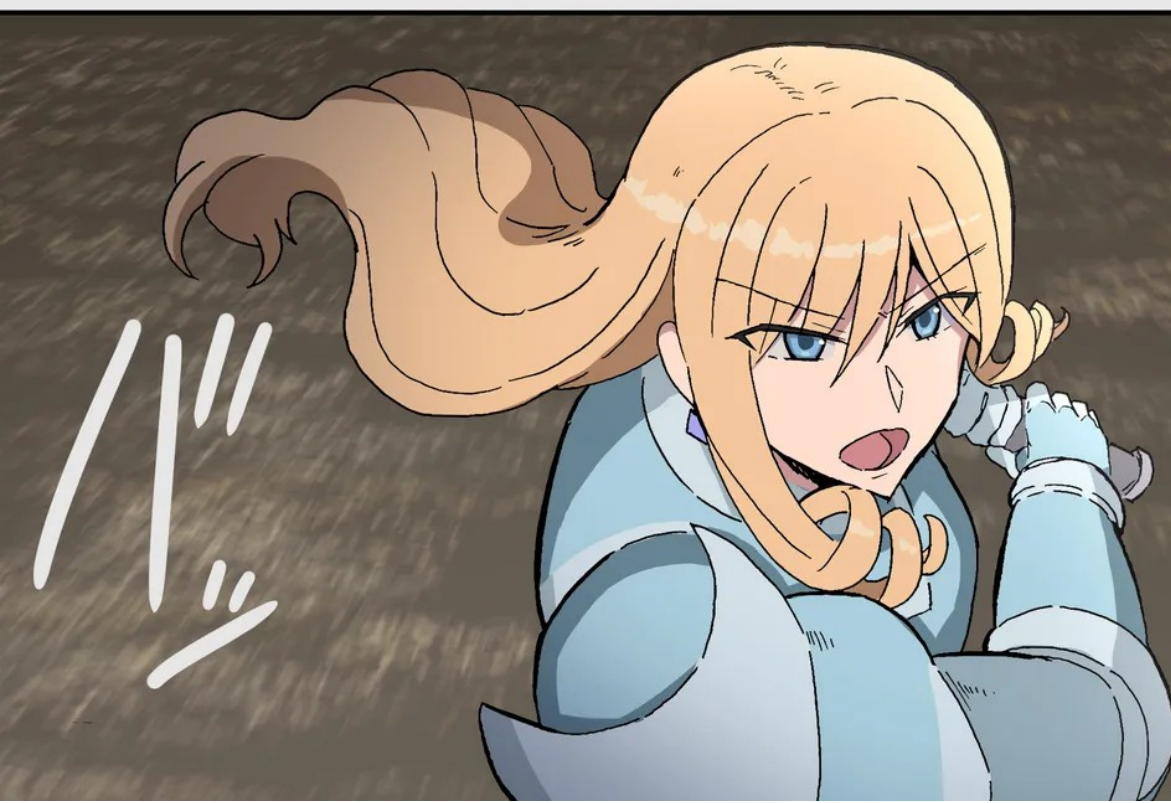
お前たちは街へ戻り
騎士団に伝えるんだ！

は、はい！

先生は！



ここは
私一人で十分だ！



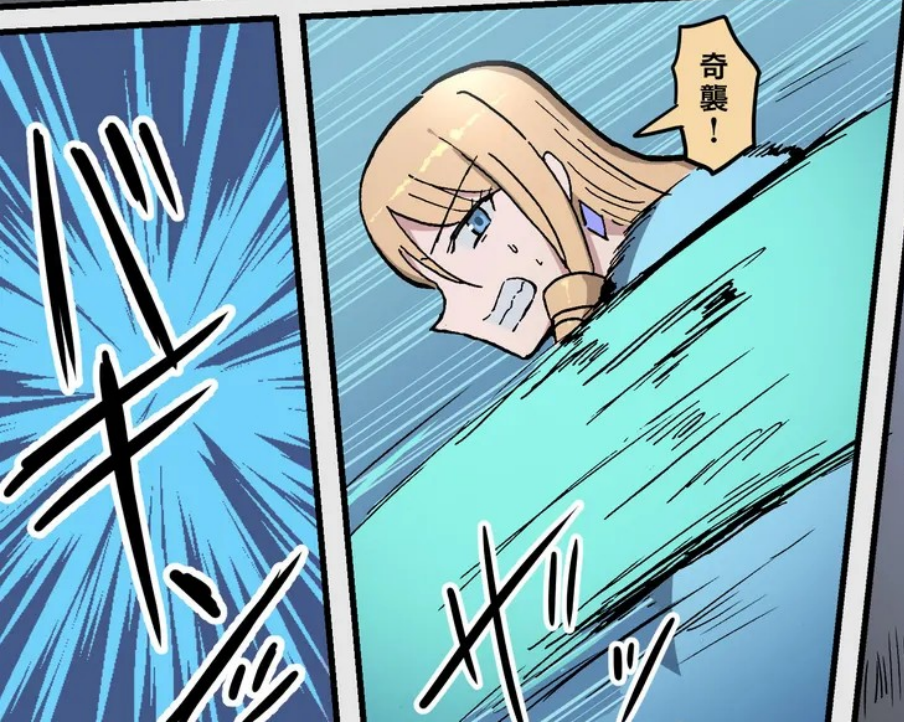
私は次々に襲い来る
魔族を叩き斬っていった。



敵を全て倒したと
思ったその時…

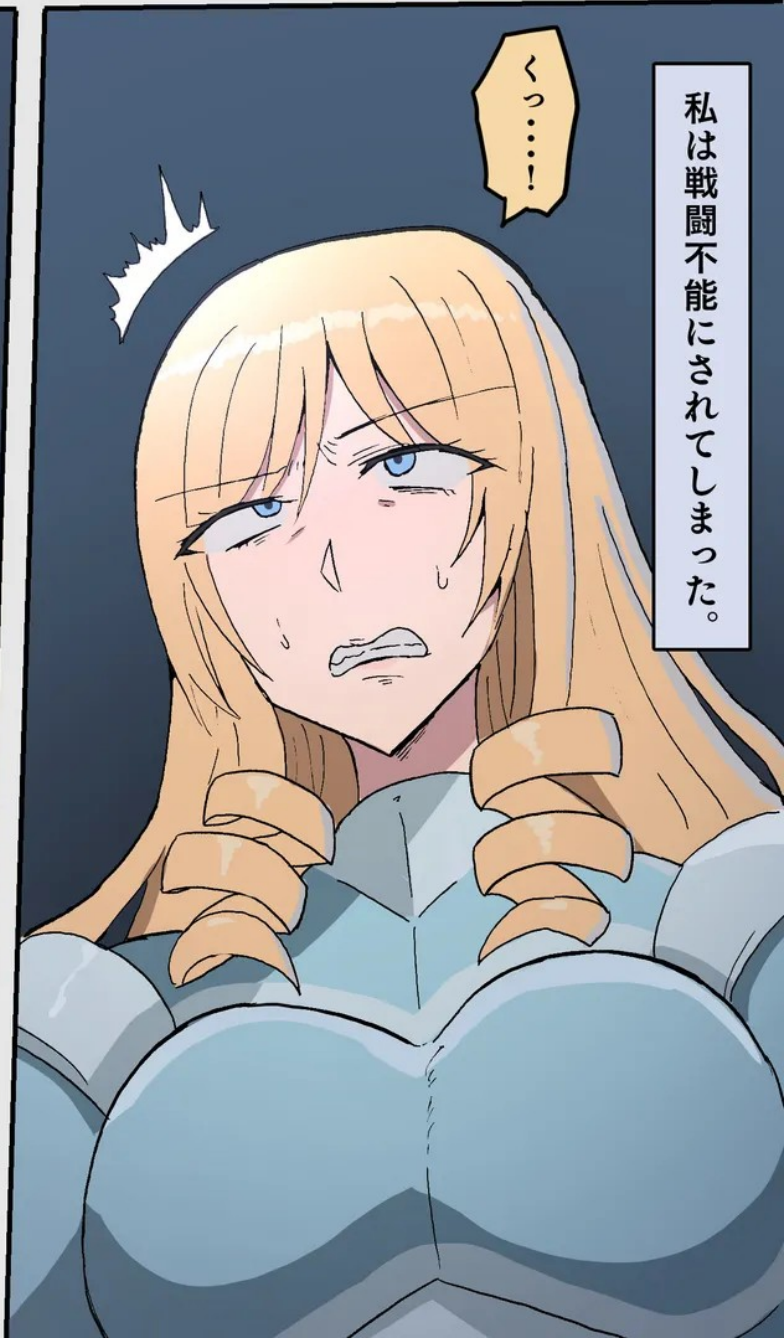
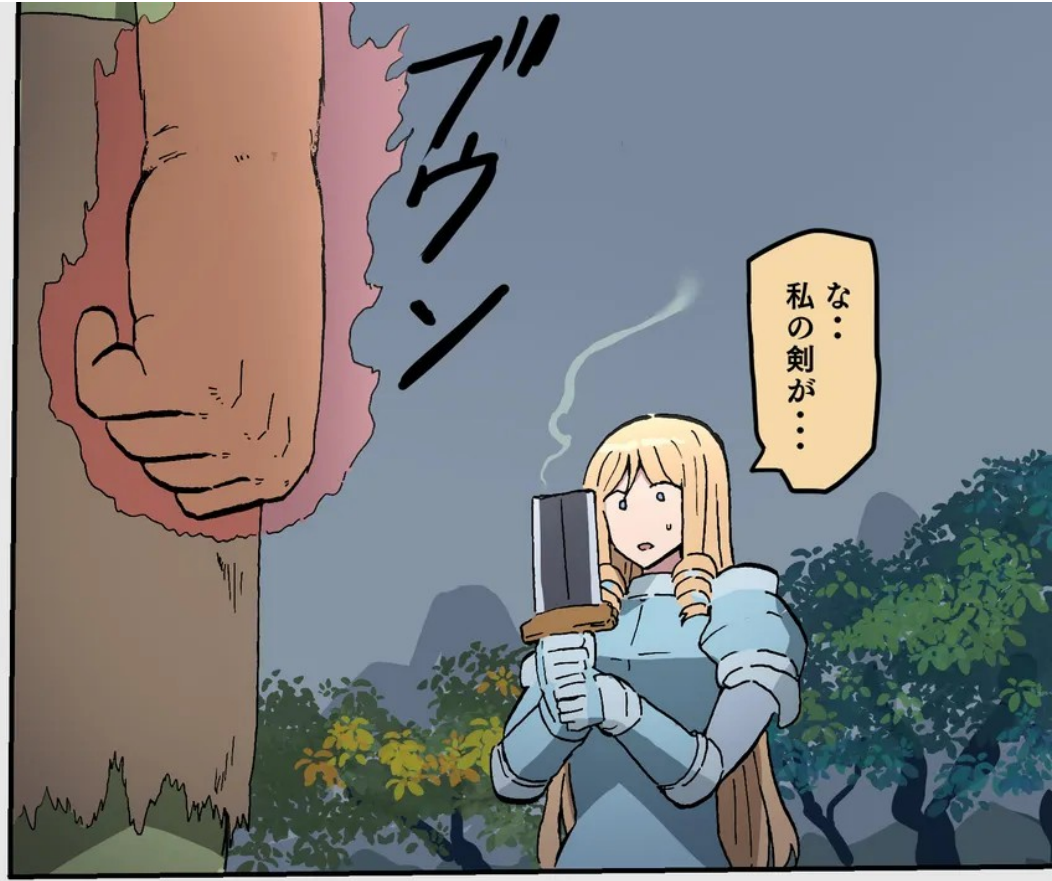


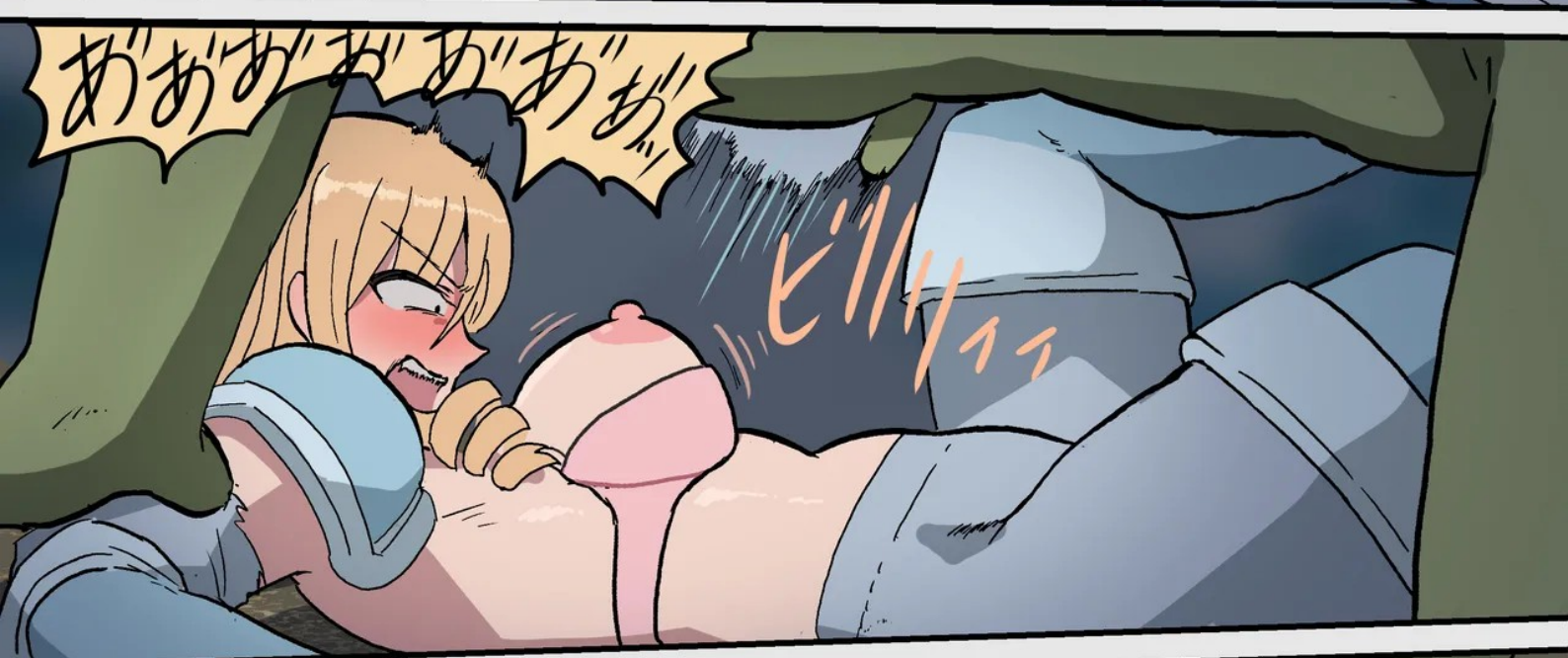
奇襲！

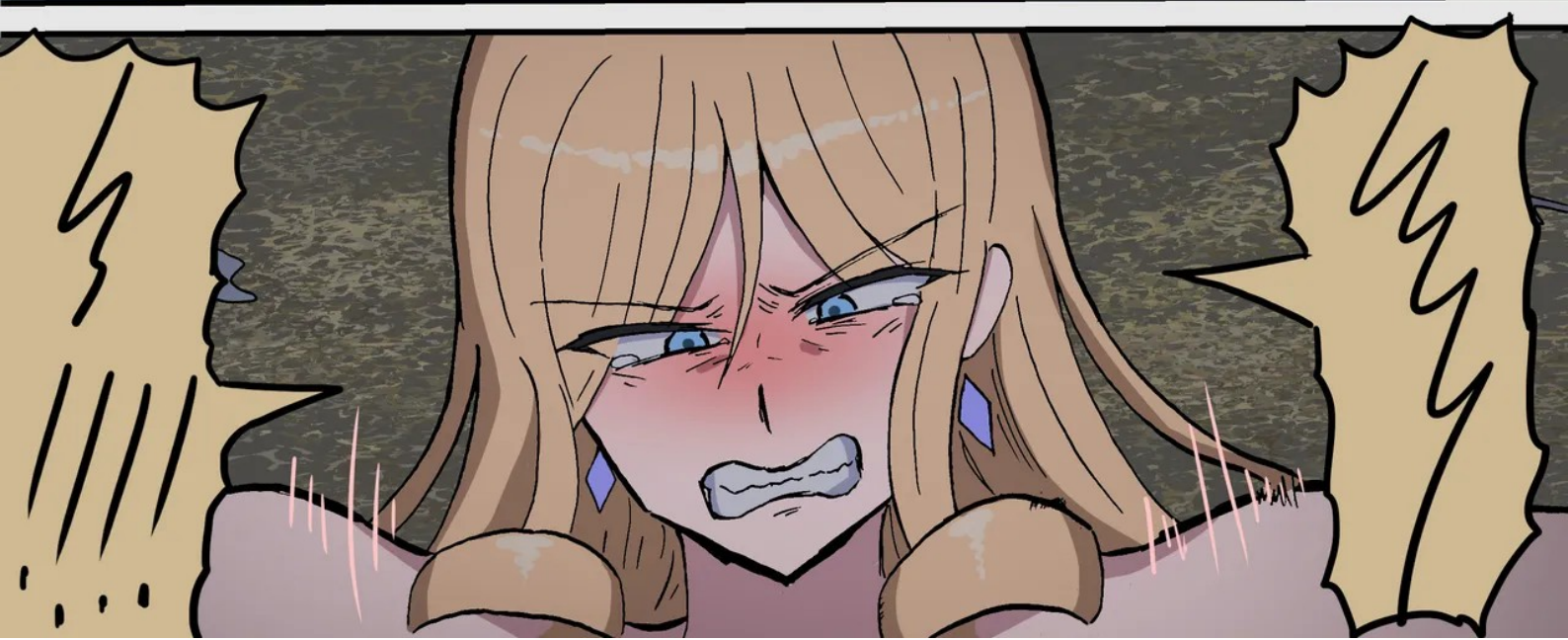
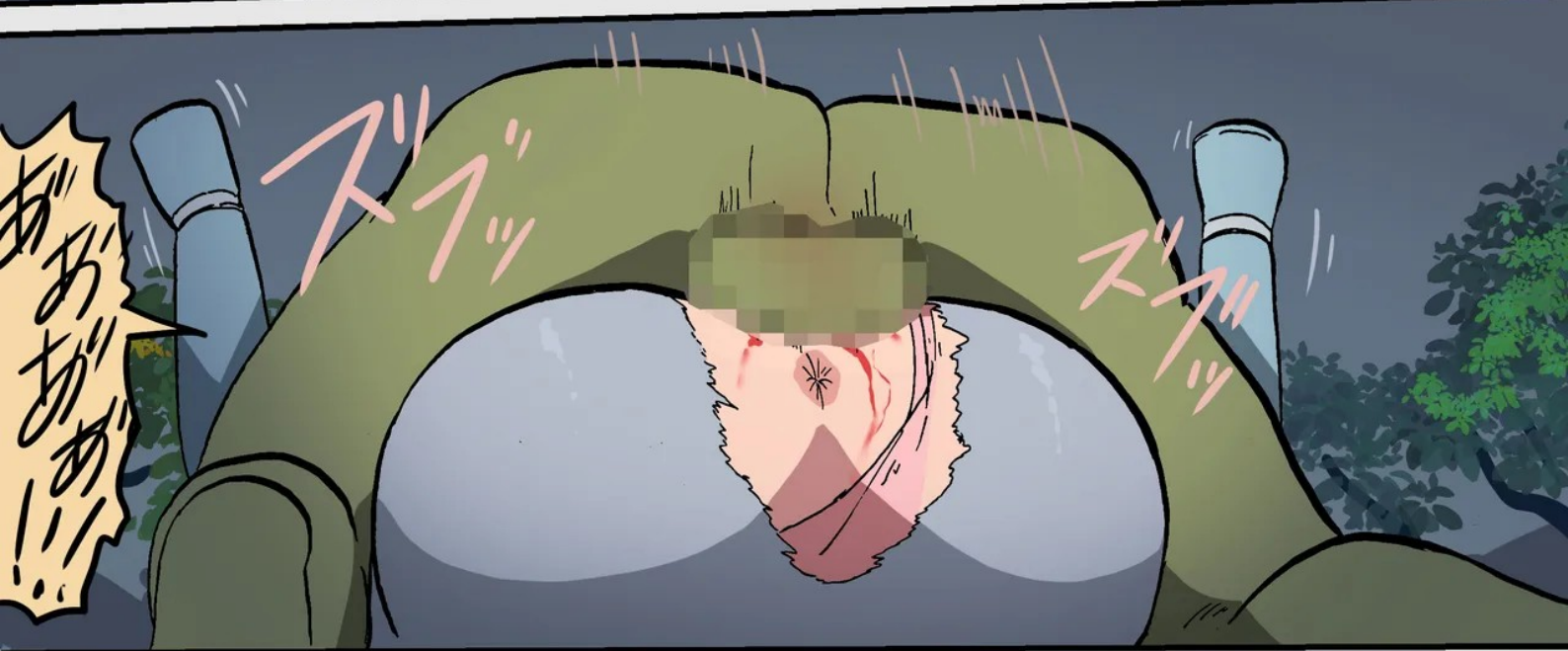


ヤツが現れた。









私は穢されてしまった。

オレたちの
印が付いたな

必ずオレの
雌にしてやる…!

必ず…

何度も犯されて続けた。



コイツは私を
自身の雌にすると言っていた。
つまるところ性奴隷の事だろうか。

...

今日も
調教を続けるぞ

ビグググッ

ブムッ

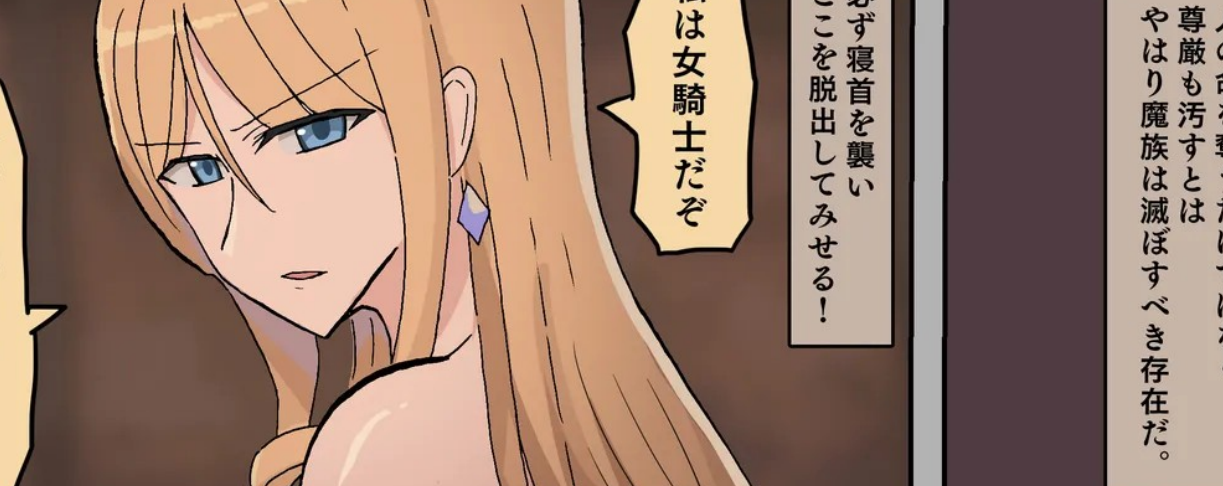
コイツは私を
自身の雌にすると言っていた。
つまるところ性奴隷の事だろうか。

...

今日も
調教を続けるぞ

ビグググッ

ブムッ

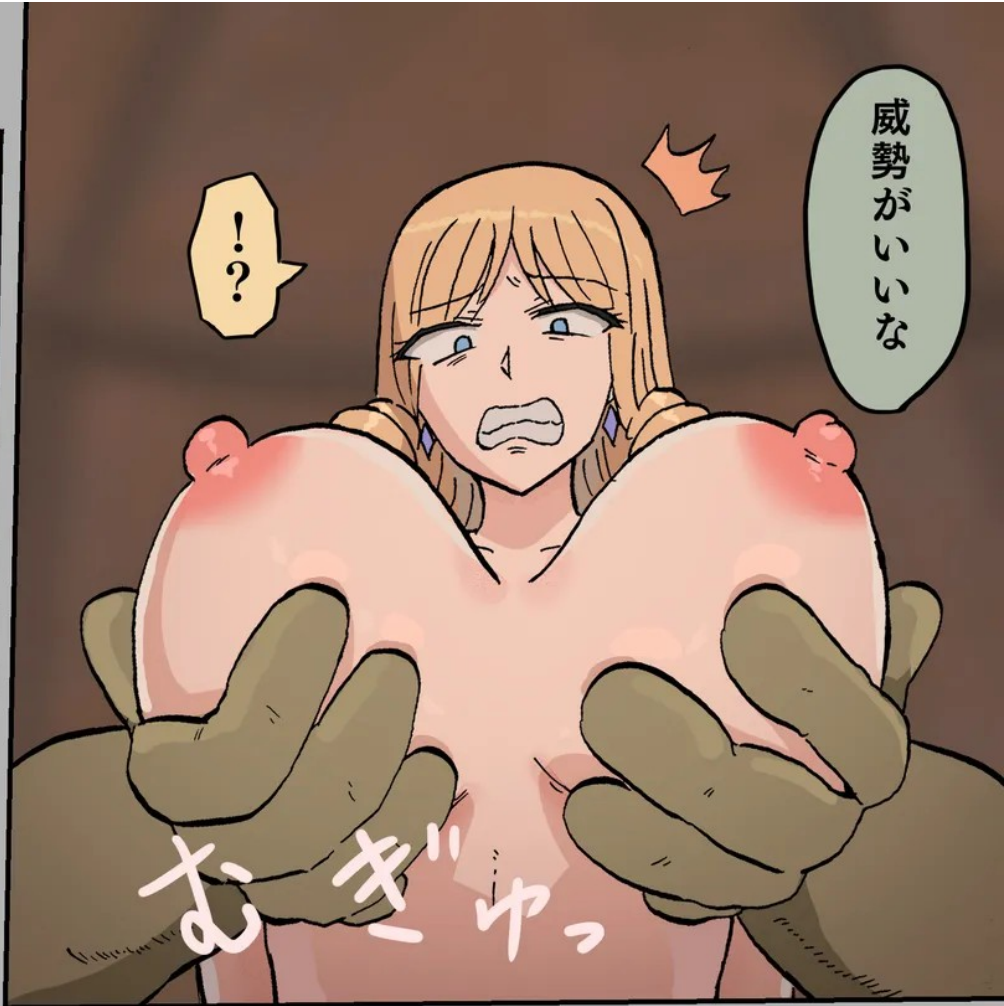


お前の雌になど
決してなりはしない

私は女騎士だぞ

必ず寝首を襲い
ここを脱出してみせる！

人の命を奪うだけではなく
尊厳も汚すとは
やはり魔族は滅ぼすべき存在だ。





いい眺めだ
アソコが丸見えだぞ

それに少し
濡れているな

そんな
馬鹿な事が！

今すぐ
ふちこんでやる！

ピトッ

また穢されてしまう！

ズンズンズンズン

ふぐう!

入ってきた
.....!!?

ビクッ

うそ...

声が漏れる!

グググ

ぞわぞわする!?

グググ

パン

!?
昨日より
痛みが薄い!?

パン

どうだ！
奥まですんなり
入るようになってきたな！

ズチュ

ズチュ

ズチュ

中の具合もなかなかだ！
もう絡みついてくるぞ！

うそ……！
気持ちいい？？

こんなの
おかしい！

お、お前！
私に何をした……？

グチ

グチ

お前の身体に雌の印を刻んだ
それは精液に含まれる魔力を吸収し
お前の身体を内側から変えていく

その印が大きくなる頃には
お前は立派な雌になっているだろうな

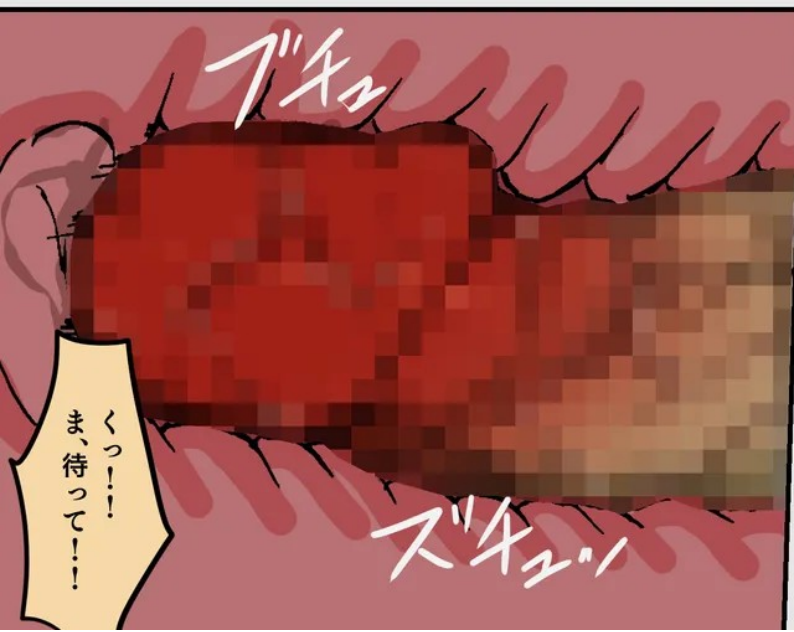
そ、そんな……!

ブルン

ブルン

ズブ

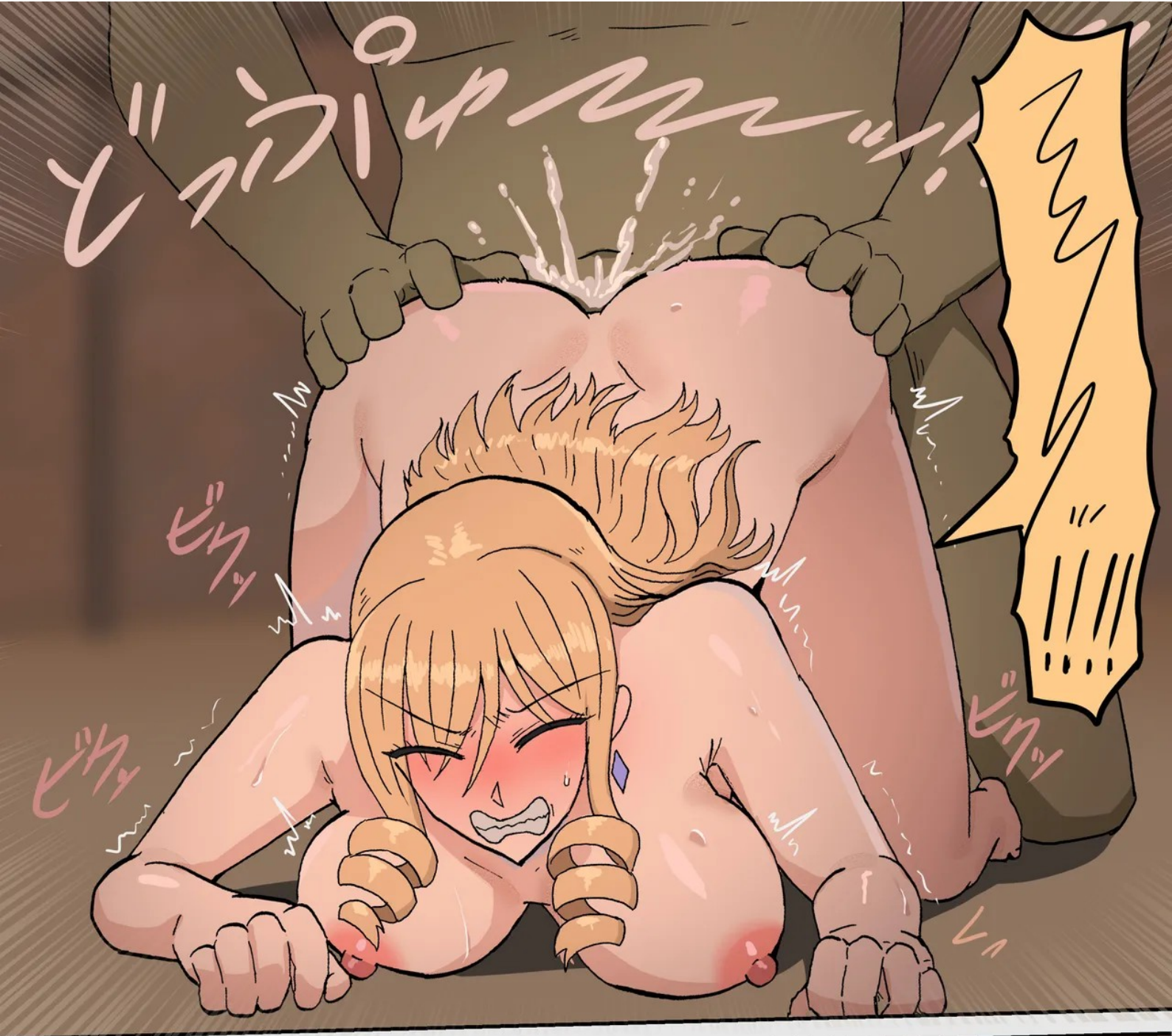
ズグ



くっ……!
ま、待って……!



さあ、一発目だ!
受け取れ!



それから私は何日も犯され続けた。



私は快楽を抑えることが
できなくなっていた。



こんな事して!!!!
ただで済むと思うなよ!!
わかっているのか!?



私はあの誇り高い...

んおおおお





もうやめてえ!!!!



なんで...?
なんでこんなに...!!!

なんでこんなに
気持ちいいの!?



最近コイツの
様子がおかしい…



キスばかり…



それに
前と比べて

どこか優しい…



ダメだ…
身体が興奮してしまうっ…!



いや、
私だけじゃない…



こいつも
興奮しているっ…?





きっと私の身体の影響だ

私の身体は雌の姿に変えられてしまったんだ
そして、この身体からは卑猥な匂いがする

この匂いがこいつを
興奮させているんだ...!

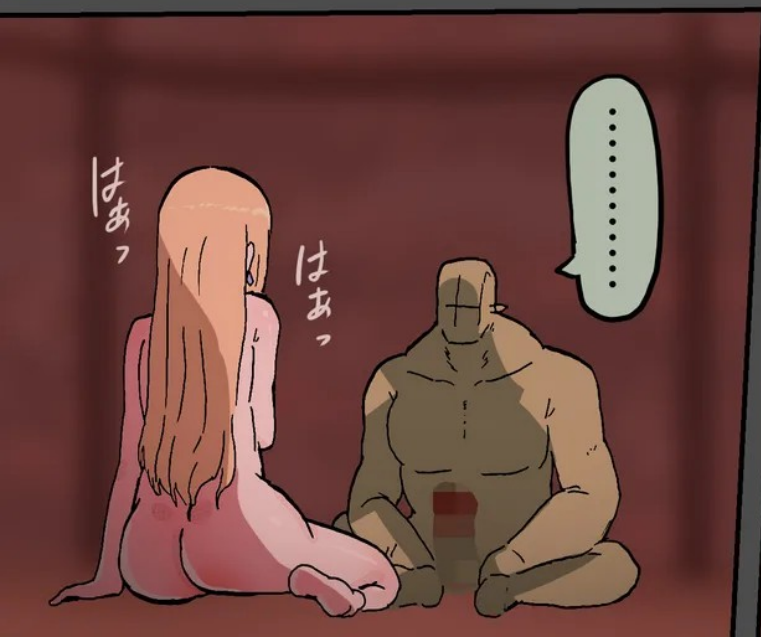


.....



駄目っ...!
私も変な気持ちになっちゃいます...

ヤッ



お前はもう
オレの雌だ



それなら雌相応に
扱うのがオレの流儀だ

はぁ
はぁ

!?



そうか...

雌というのはコイツに
とって名譽ある言葉なのか？

わたしはてっきり性奴隷の
ような存在だと思っていた。

弄ばれ、嬲られ、飽きたら
殺される存在だと思っていた。

でもそれは間違いで
きっと私たちで言う恋人に
近い言葉なのかもしれない

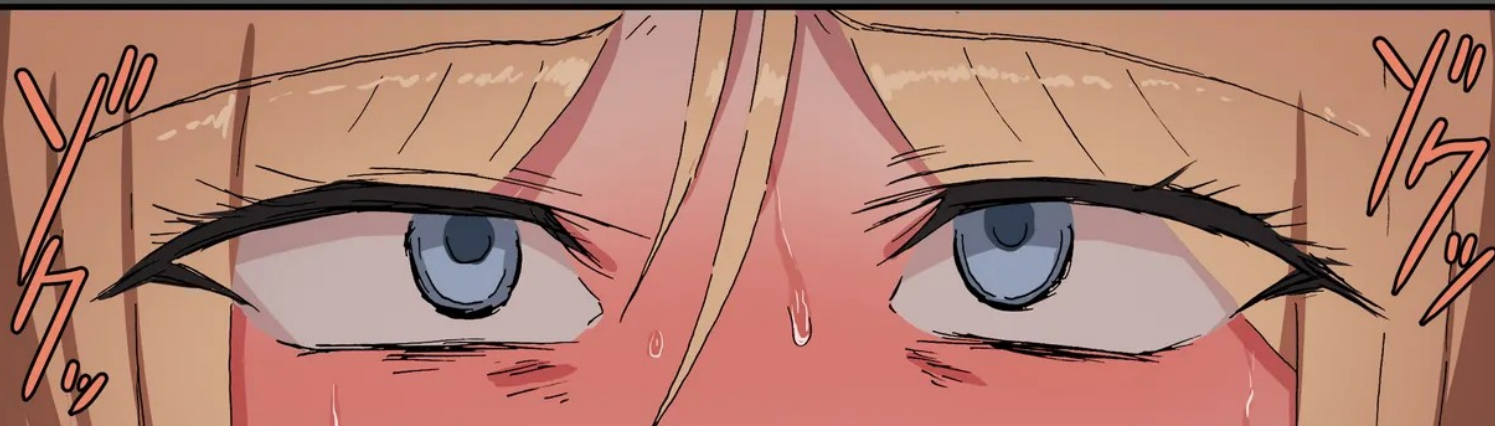


それって つまり...



この私を

愛してくれるという事なのか？





これから
やってはいけない事を
やってしまう...

私...



か、勘違いするなよ

これは…
そう作戦だ！

はぁっ
はぁっ

敵の事を知らなければ
戦えないからな…

だから…

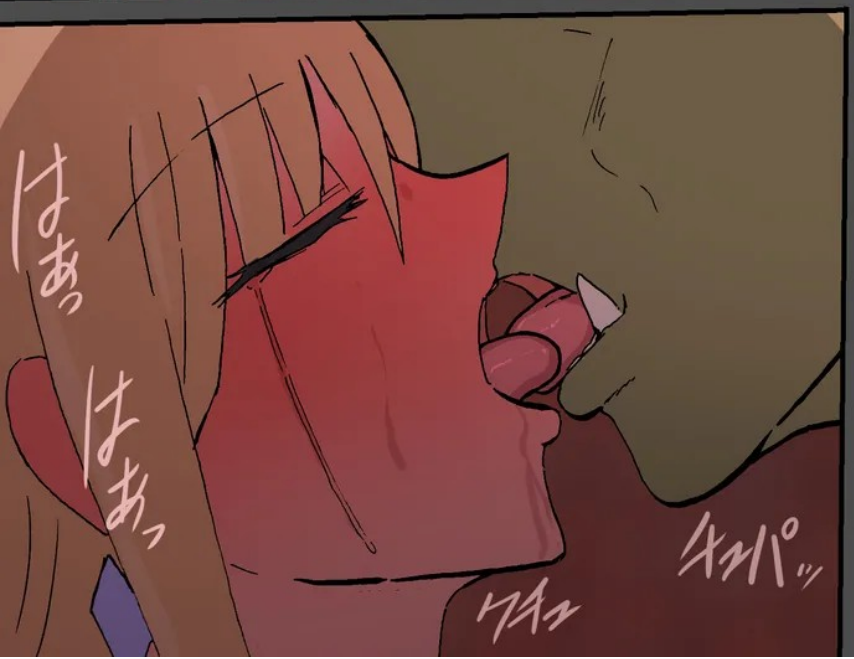
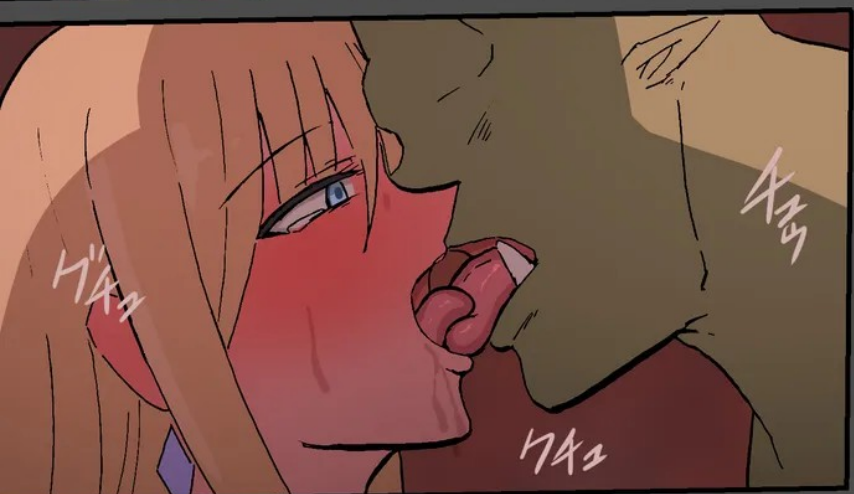
もっとお前の事を
教えてくれ…！！

フッ

はぁっ

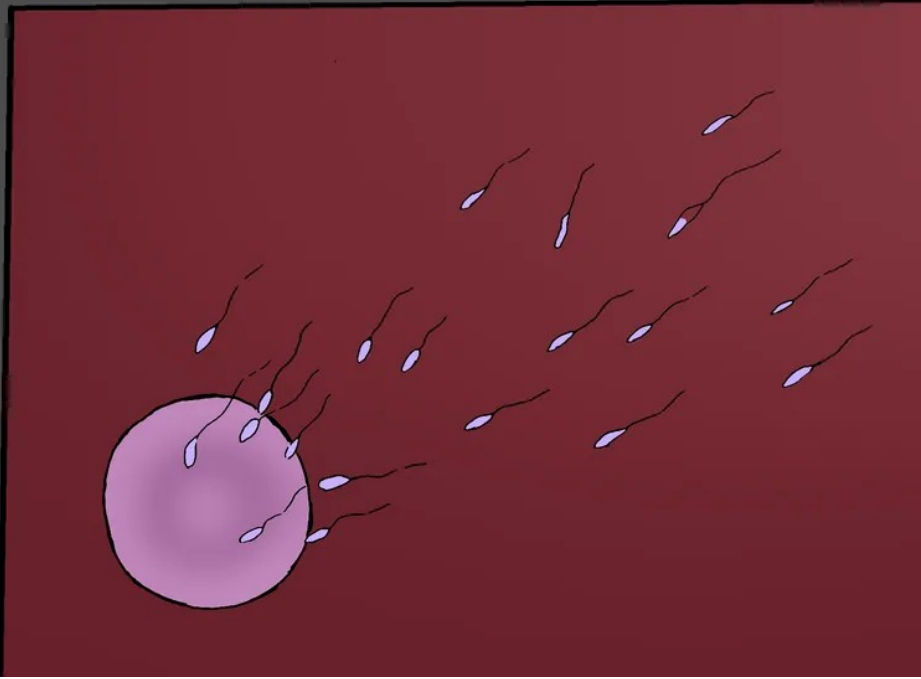
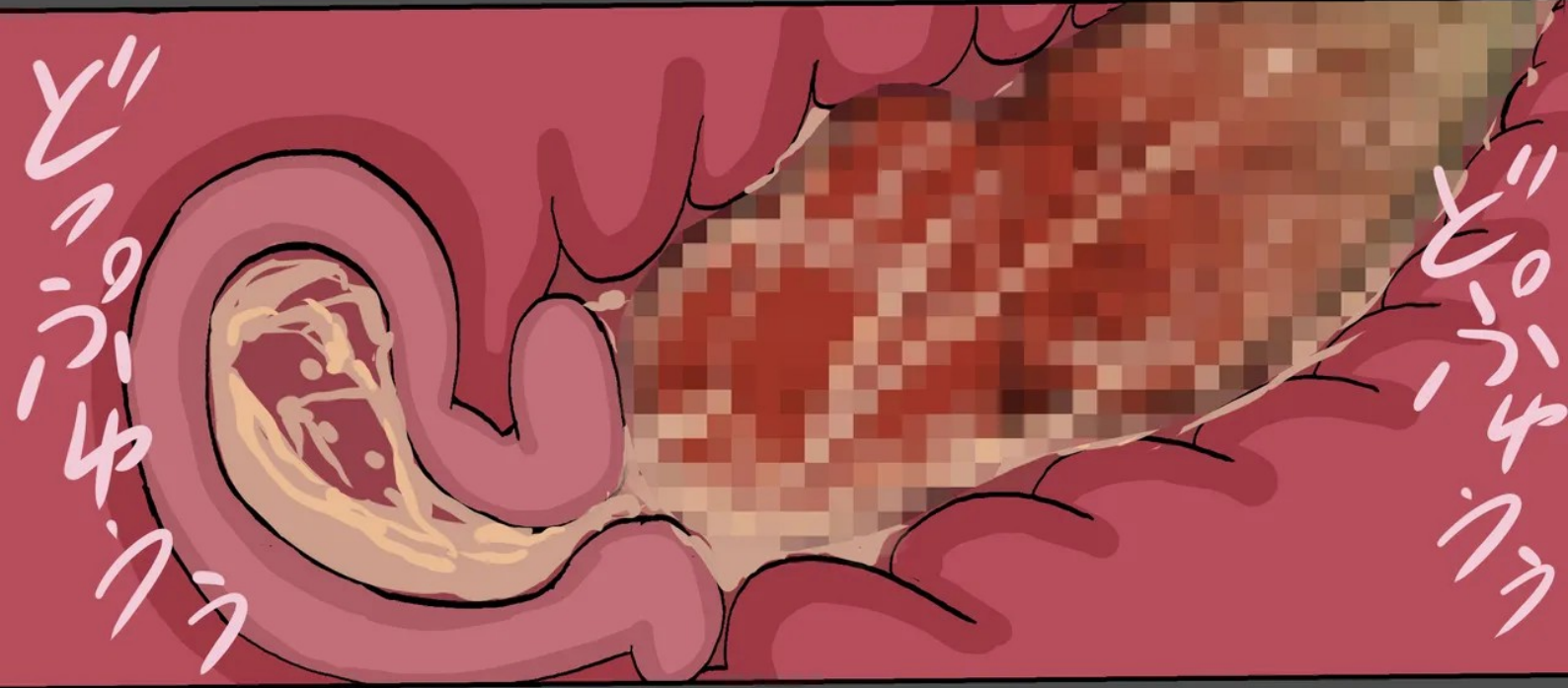
はぁっ

ズッ



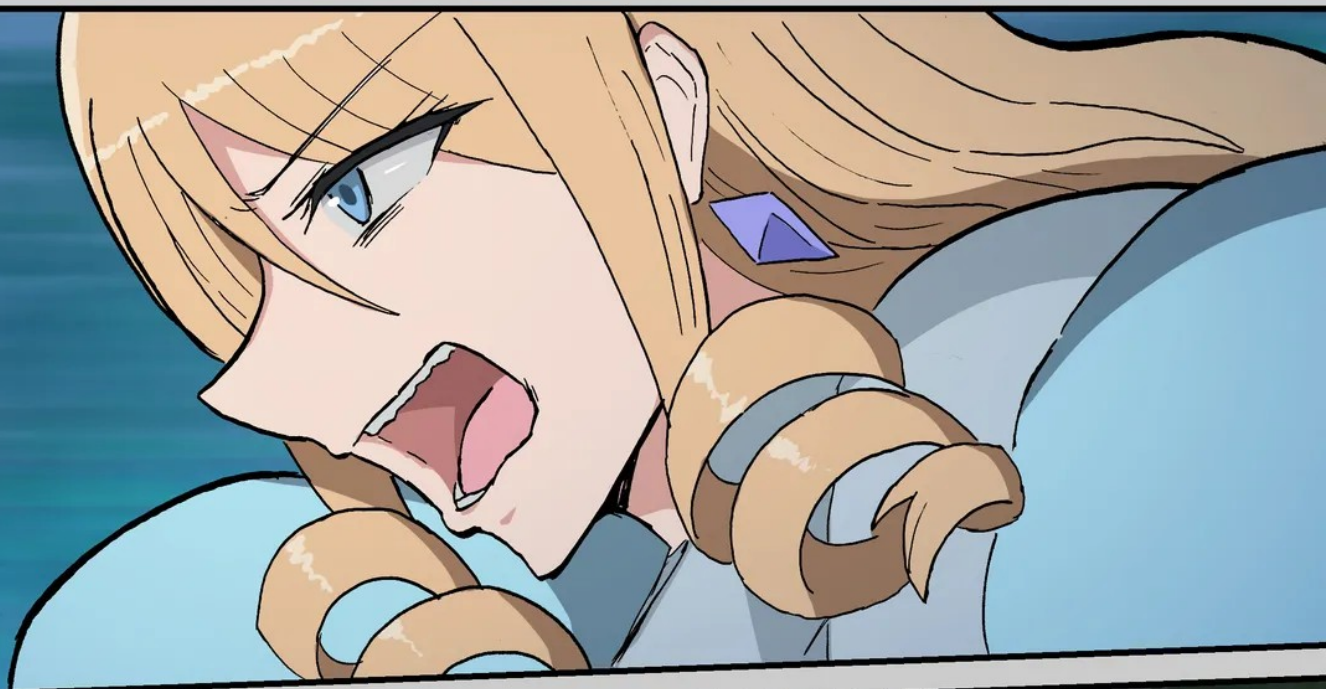
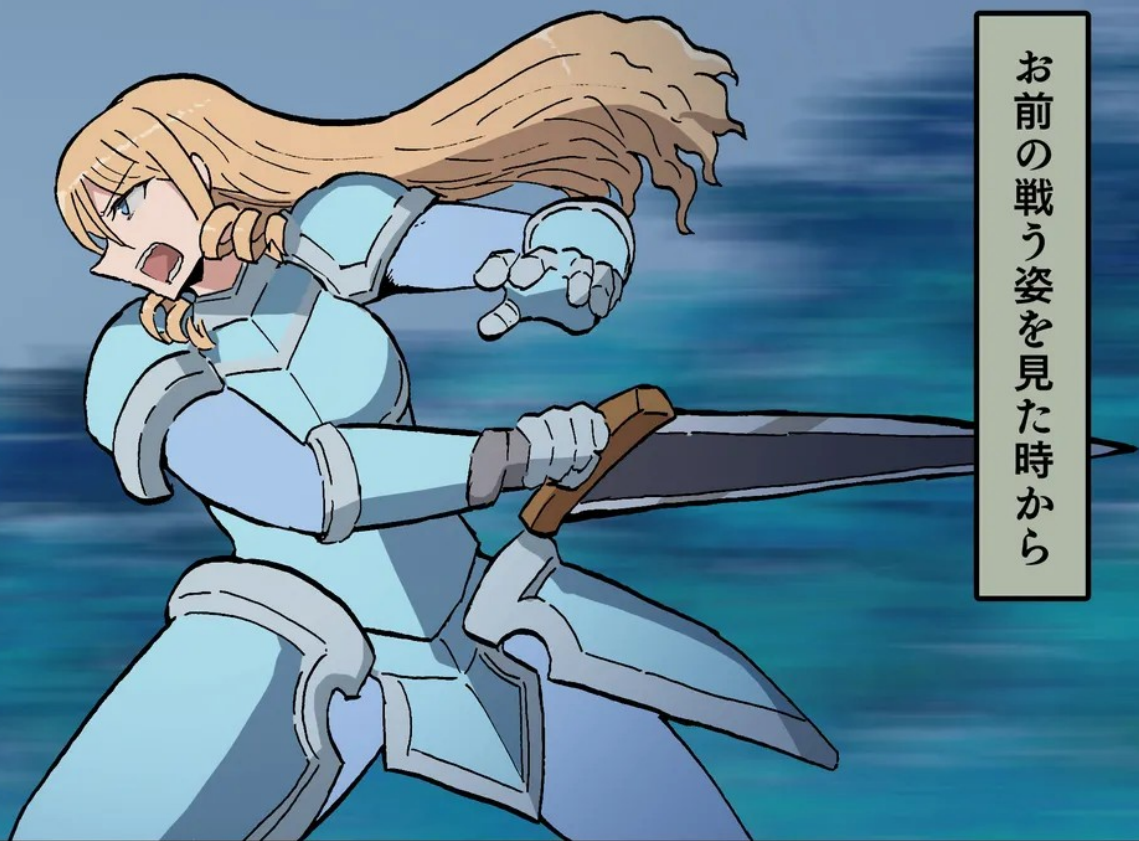


どっぴゅん くらん!!!





お前の戦う姿を見た時から



必ずお前に
オレの子どもを
孕ませると



決めたんだ

お前は
オレのモノだ

ビクッ♡
ビクッ♡

ゴポォ



数か月後

私は女騎士だった。

こっちに来るんだ



もう、そんなに
待ちきれないの♡

でもそれは昔の話だ。

ムム♡
ムム♡

安心して

はぁ♡

はぁ♡

今日は
大事な日だから

今はオークの雌として暮らしている

お腹の中の赤ちゃんに

たっぷり栄養を上げてね♡

はぁっ♡

はぁっ♡

おちっ♡

おちっ♡

パサッ

ムアッ♡





いやらしいおまんこも
全部貴方好みでしょ♡

ブル♡

グニッユッ



ほら♡見てえ
この熟した大きなおっぱい♡

はぁ♡

ブル♡

ブル♡



こっちも
相手してあげるね

フッ



お前は優秀な雌だ

嬉しい♡

ちゃっ♡

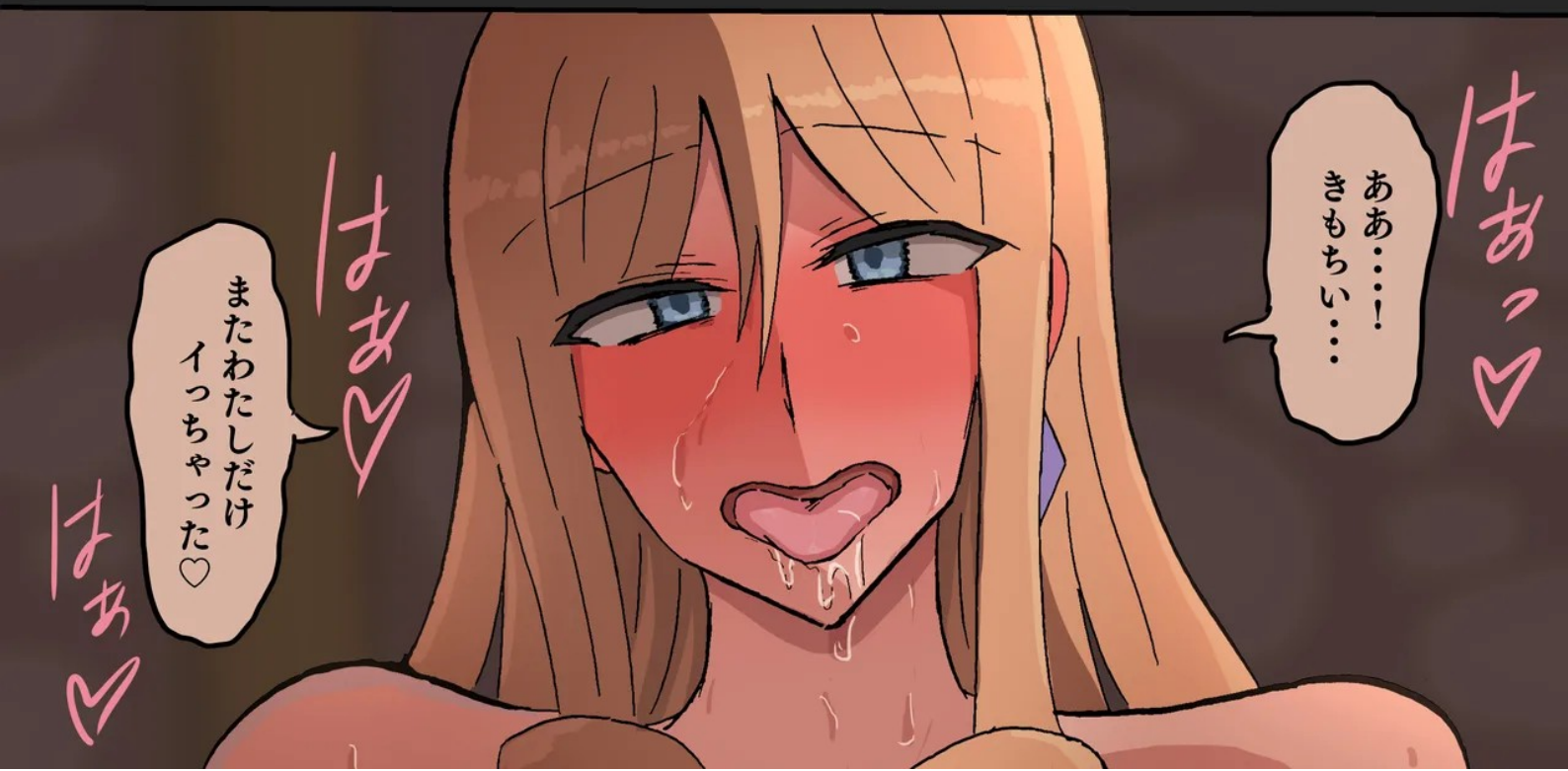
はぁ♡



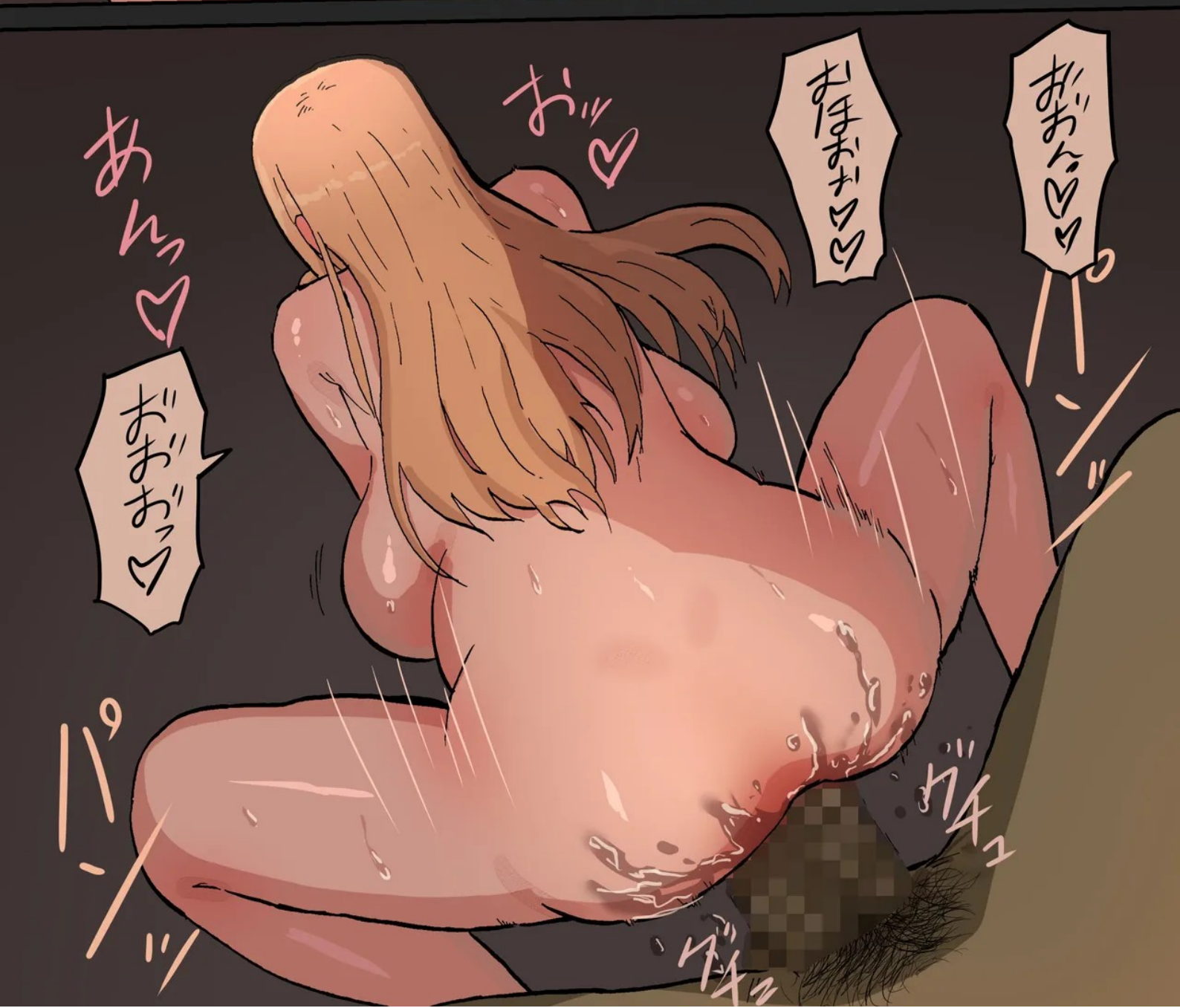














それから私たちは我を忘れ
お互いの身体を求めあっていた。





なんて下品な
身体なんだろう

むわぁ..♡

ステキ...♡



ここまで変態に
なるとはな

ひどいゝ
幻滅しないでよね

まじか...



今のお前が

一番美しい

恋愛など下らん

私は嫉妬していたんだ

ああ・幸せだ

騎士だった頃の私は
周りから男達を遠ざけてきた。

騎士は一人で生き、
平和のために命を捧げるべきだと
思い込んでいたからだ。

でも今の私は騎士ではない。

はぁ♡

はぁ♡

これが雌にされ、
愛されることを知った私の姿だ。

愛されることが

はぁ♡

こんなにも幸せな事
だなんて知らなかった！

はぁ♡

コイツに愛され、求められると
騎士の頃からずっと感じていた空虚な
気持ちや虚しさが消えていく。



そうだ、私。
あの頃よりも...

コイツに愛されて
求められて
コイツのために生きて
ドキドキして



コイツの赤ちゃんを
孕んでる今の私が
好きなんだ...♡

ねえ、わたしね

これから貴方のおちんちんを
ぐじゅぐじゅのおまんこで
いっぱい包んであげちゃう♡

はぁ♡

はぁ♡

そしておまんこの中で
せいしどぴゅどぴゅって

タブタブになるまで
受け入れちゃう♡



だから…

はぁ♡

きて♡

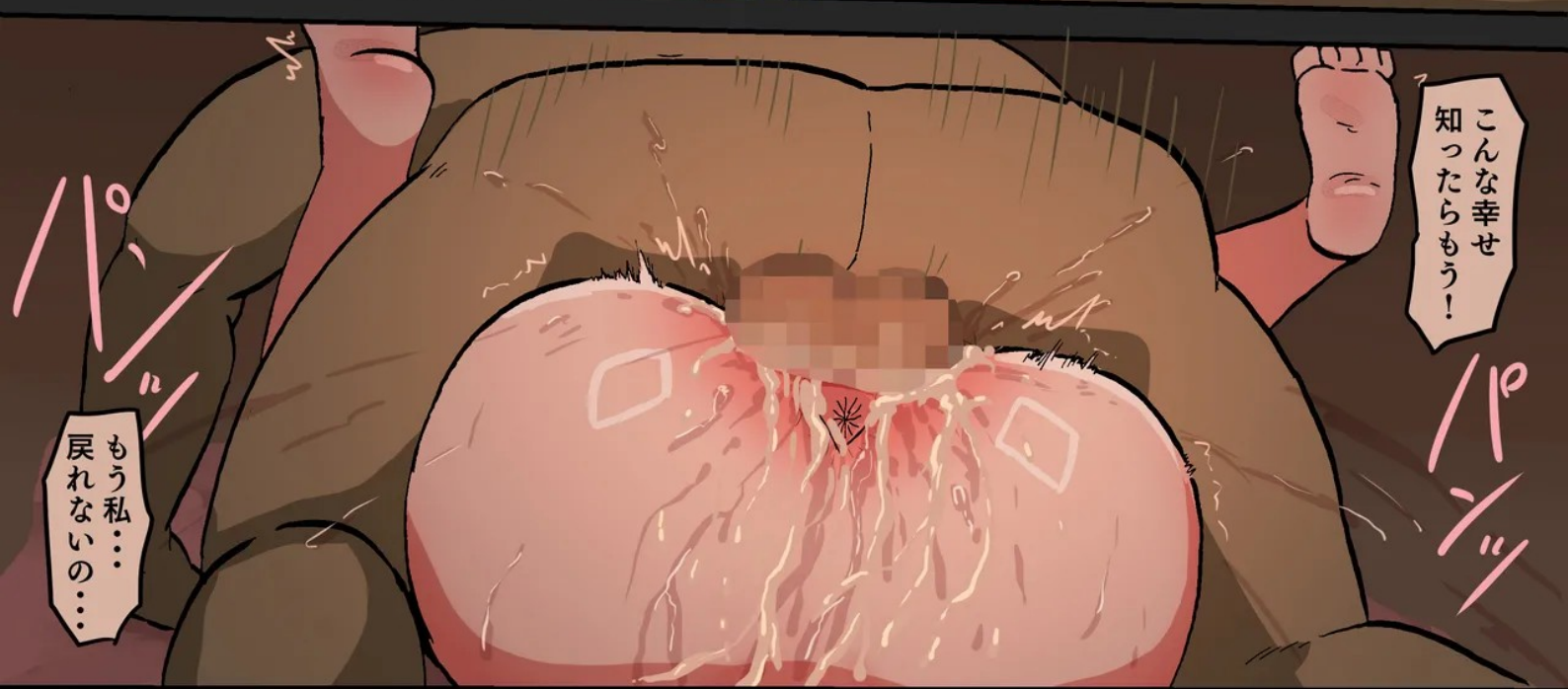






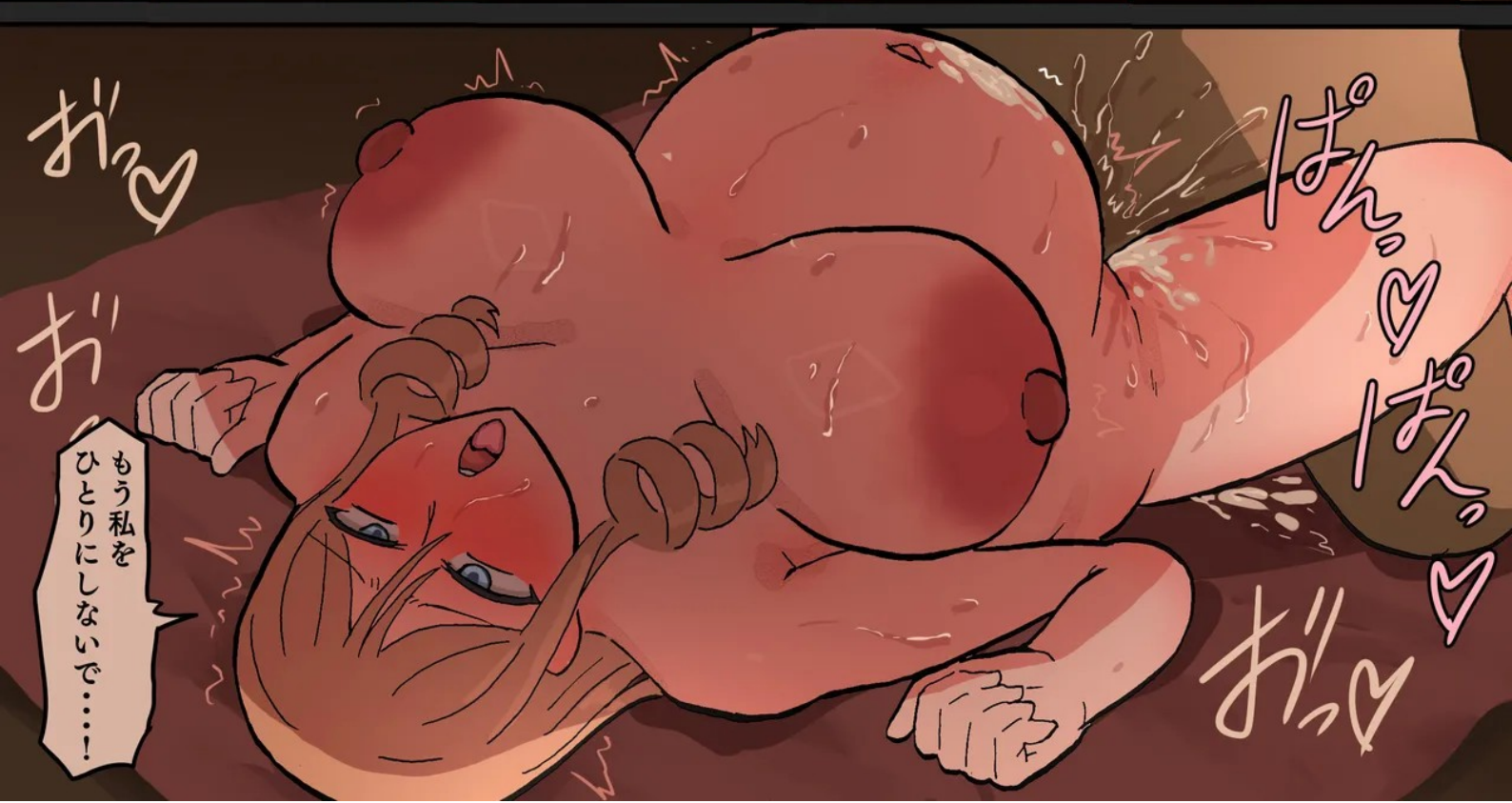
あたためて
満たして

ずっと、
ずっと
愛して…



こんな幸せ
知ったらもう！

もう私…
戻れないの…



もう私を
ひとりにしないで…！







ド

クンッ



どうやら
来たみたい...!

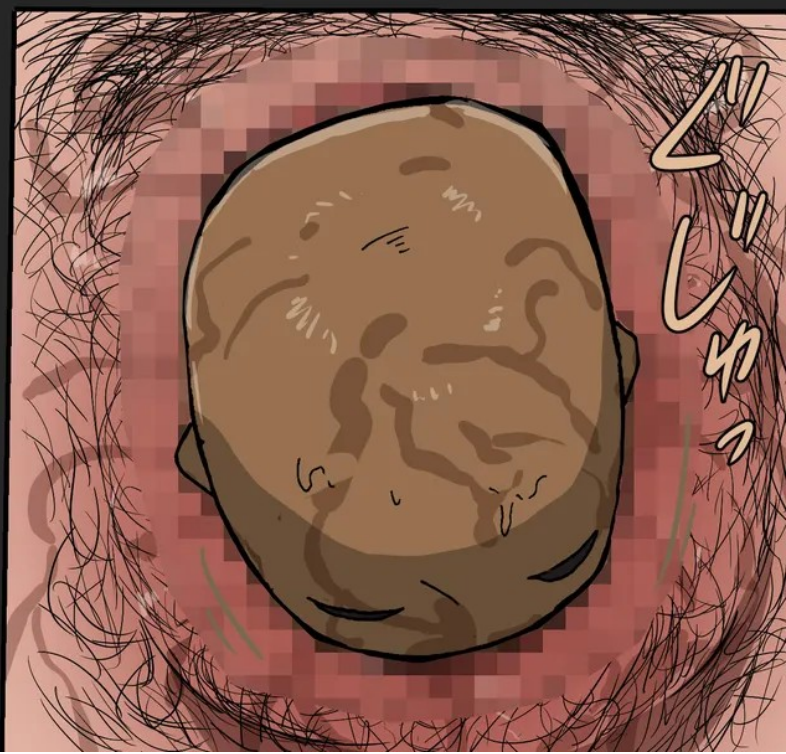


はあッ...

大丈夫か?

ええ、
ええ











A cartoon illustration featuring a blonde woman with blue eyes, blushing and holding a small brown baby. A large, muscular, brown-skinned man with a wide, toothy grin stands behind her, his hand on her shoulder. The background is dark and textured.

よくやった……！

今の私は幸せよ。

だつてもう一人
じゃないのだから……♡

終わり

11/20

オークの花嫁たち

～高潔な女騎士は
雌に墮とされ愛される～